資料－７

最上川水系流域委員会

最上川水系河川整備計画（県管理区間）の進捗状況について

令和７年11月19日（水）
山形県県土整備部河川課

説明内容

１．山形県の河川事業

２．山形県内の近年における浸水被害
- (1) 頻発する大雨
- (2) 令和２年７月27日からの前線に伴う豪雨
- (3) 令和４年８月 ３日からの前線に伴う大雨
- (4) 令和６年７月25日からの前線に伴う大雨
- (5) 河川整備効果事例
- (6) ダム洪水調節効果事例

３．ソフト対策
- (1) 人命保護を最優先にした緊急避難行動に資する施策の推進
- (2) 大旦川（村山市・東根市）特定都市河川の指定

４．ハード対策
- (1) 災害に対する安全性を高める施設の効果的な整備
- (2) 主な河川整備（須川・古佐川）

５．維持管理
- (1) 長寿命化対策の推進
- (2) 県民協働による維持管理・地域づくりの推進
- (3) 河川流下能力向上・持続化対策計画

1．山形県の河川事業

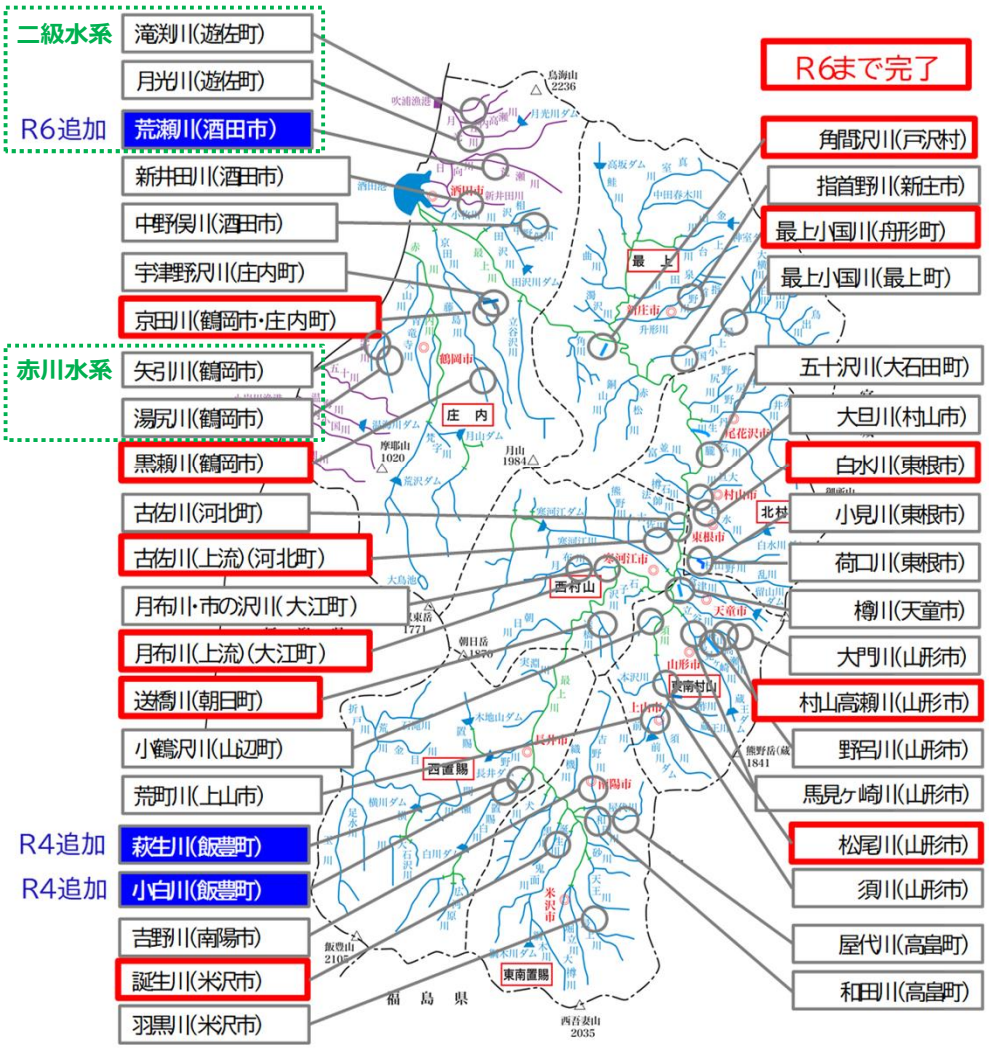
- **河川整備の方針、整備状況**

➢ 令和2年7月豪雨と同規模の洪水等に対し浸水被害の解消を図ることを目標として、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算」等を活用し、概ね10年間（令和2年度から11年度）で35河川37か所（右図）、約500億円規模の河川整備を集中的に実施

⇒ R6年度までに11か所完了

➢ 令和4年8月大雨により小白川・萩生川、令和6年7月大雨により荒瀬川において「改良復旧」を実施

➢ 「河川流下能力向上・持続化対策事業」（単独）により堆積土砂掘削や支障木撤去とともに、持続可能な河川管理に向けて土砂流出抑制対策や再堆積のモニタリングなどの取組を実施



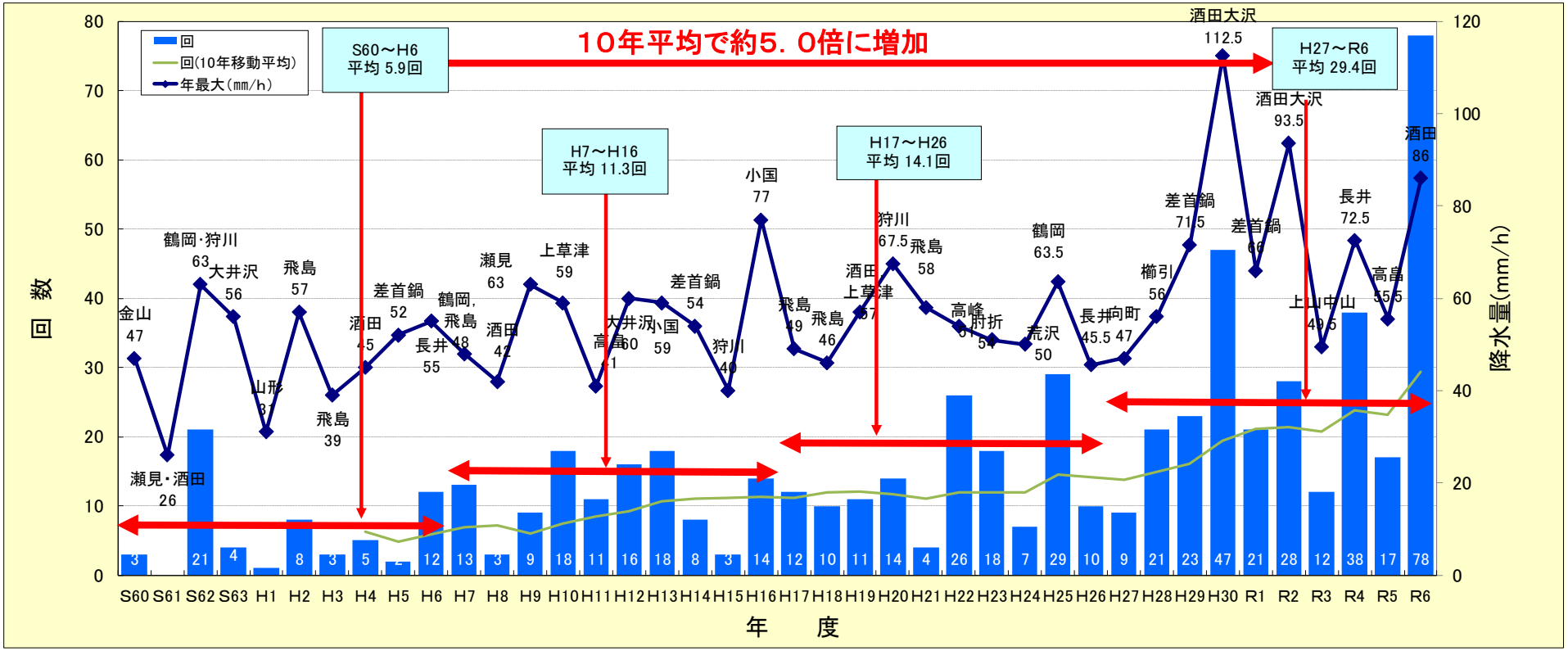
集中的に河川整備を実施する箇所

2．山形県内の近年における浸水被害

(1) 頻発する大雨

◆平成30年８月豪雨、令和元年東日本台風、令和２年７月豪雨、令和４年８月大雨及び令和６年７月大雨等により、山形県内では甚大な浸水被害が頻発しています。

◆県内では、地球温暖化に伴う気候変動等により、今後も記録的な集中豪雨や災害が多発することが懸念されています。

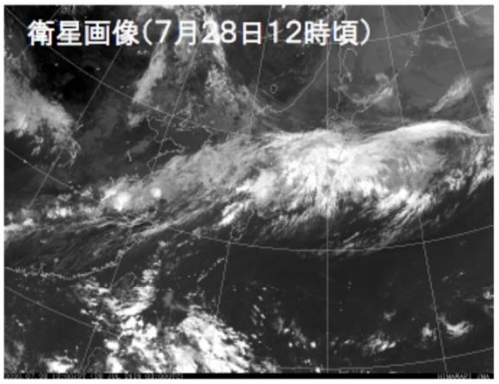


※1　１時間降水量30㎜以上の発生回数を集計
※2 山形地方気象台提供資料および気象庁公表データを基に作成

2．山形県内の近年における浸水被害

(2) 令和２年７月27日からの前線に伴う豪雨

- 前線及び低気圧の影響により７月27日から、山形県と秋田県を中心に非常に激しい降雨となり、累加雨量は多いところで300mmを超過した
- 山形県の湯殿山雨量観測所（国交省所管）では累加雨量280mmを観測するなど、例年７月の降雨量が２日間で降り、既往最大を記録

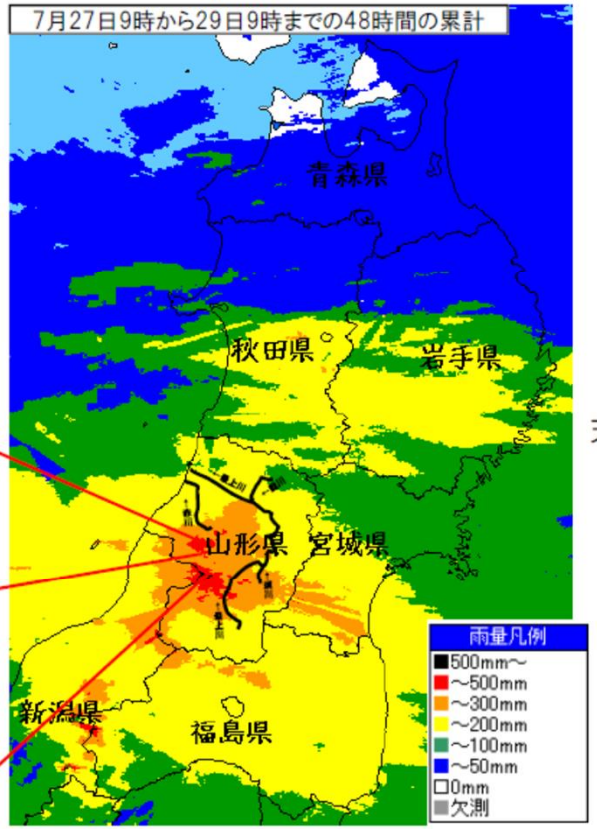


○湯殿山（国交省）　：280mm※
（赤川水系梵字川＿山形県鶴岡市）
※例年7月の降雨量（270mm）の1.1倍の雨が2日間で降った
（既往最大を更新）

○志津（国交省）　：288mm※
（最上川水系寒河江川＿山形県西村山郡西川町）
※例年7月の降雨量（261mm）の1.1倍の雨が2日間で降った

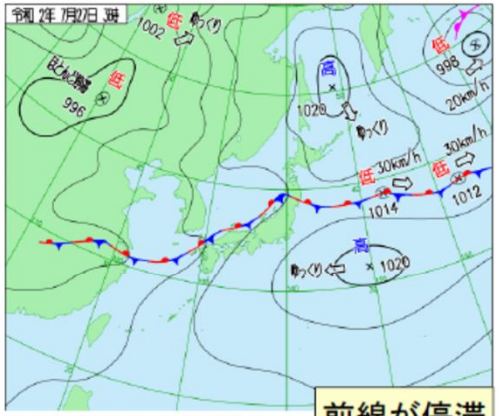
○日暮沢（国交省）　：302mm※
（最上川水系寒河江川＿山形県西村山郡西川町）
※例年7月の降雨量（377mm）の約8割の雨が2日間で降った

累加雨量レーダ※2

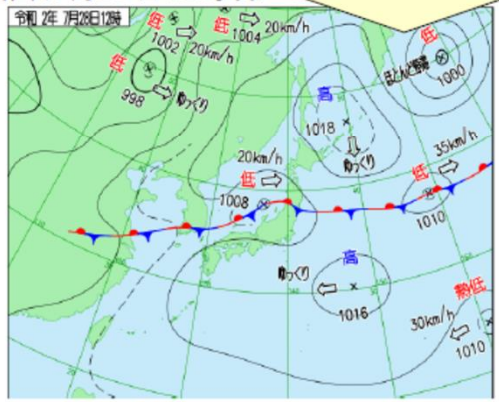


※2 累加レーダー雨量図は統一河川情報システムより

天気図（7月27日3時頃）



天気図（7月28日12時頃）



※ 天気図、衛星画像は気象庁資料より

2．山形県内の近年における浸水被害

(2) 令和２年７月27日からの前線に伴う豪雨

濁流により護岸・道路（約200m）が流出



銅山川（大蔵村南山字塩）

濁流により護岸（約80m）が流出

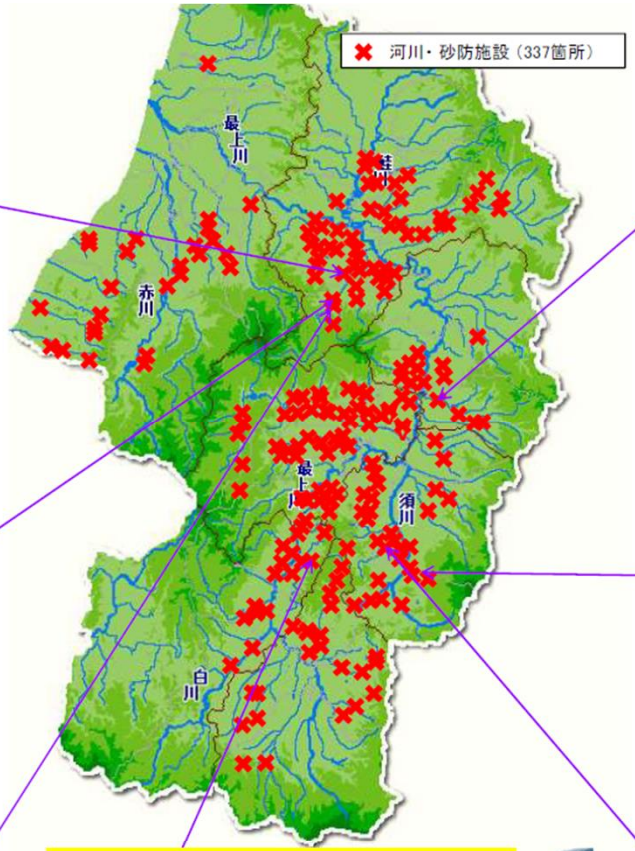


銅山川（大蔵村南山字肘折）

発電施設付近で地すべりが発生



柳淵地すべり（大蔵村南山）



濁流により護岸・道路（約70m）が流出



荒砥川（白鷹町滝野）

濁流により右岸堤防（約30m）が決壊



白水川（東根市長瀞）

濁流により護岸（約20m）が損壊



生居川（上山市下生居）

濁流により護岸（約80m）が流出



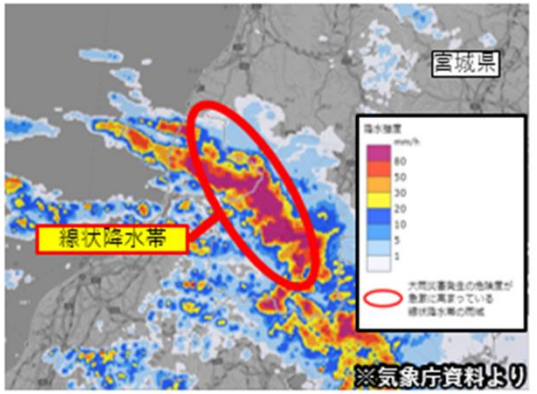
本沢川（山形市長谷堂）

2．山形県内の近年における浸水被害

(3) 令和４年８月３日からの前線に伴う大雨

前線及び低気圧の影響により線状降水帯が発生し、山形県を中心に非常に激しい雨となり、２４時間雨量が多いところで**４７４mm**を記録しました。

◇**椿**（つばき）　雨量観測所　24時間雨量　**４７４**mm　（観測史上第1位）
◇深沢（ふかさわ）雨量観測所　24時間雨量　**４０９**mm　（観測史上第1位）
◇米沢（よねざわ）雨量観測所　24時間雨量　**２６２**mm　（観測史上第1位）

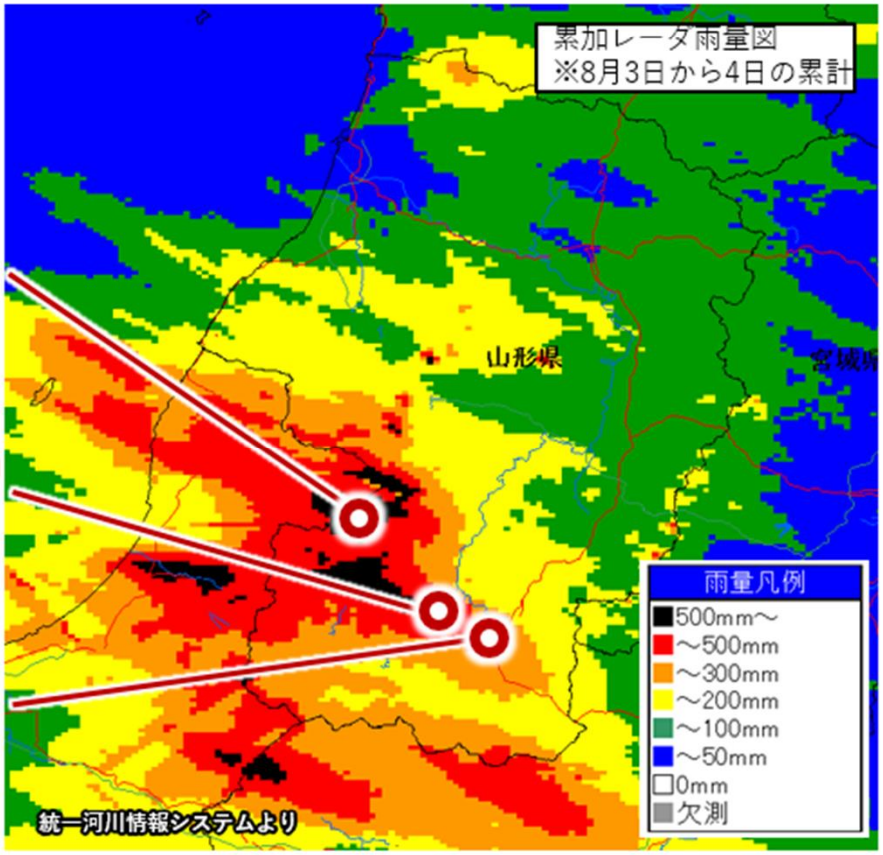


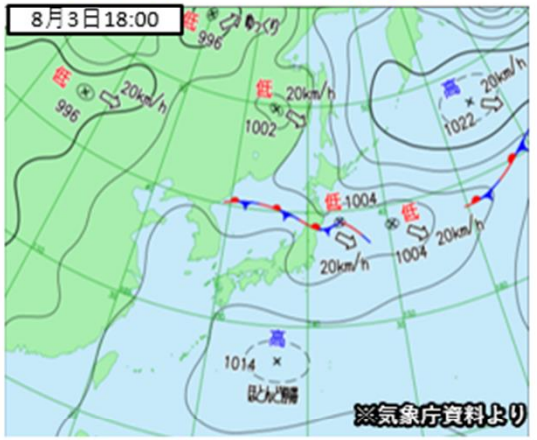
主な雨量観測所の累加雨量（24時間雨量）

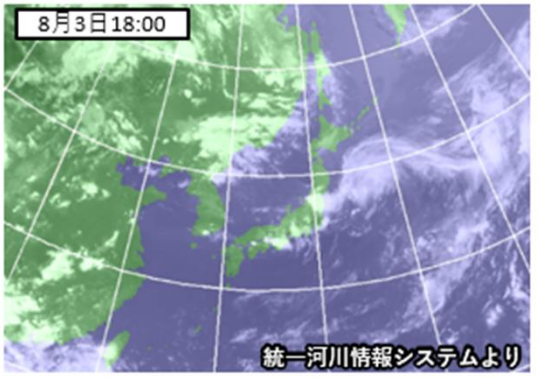
・深沢（ふかさわ）雨量観測所
累加雨量 409mm
（国土交通省）

・椿（つばき）雨量観測所
累加雨量 474mm
（国土交通省）

・米沢（よねざわ）雨量観測所
累加雨量 262mm
（国土交通省）



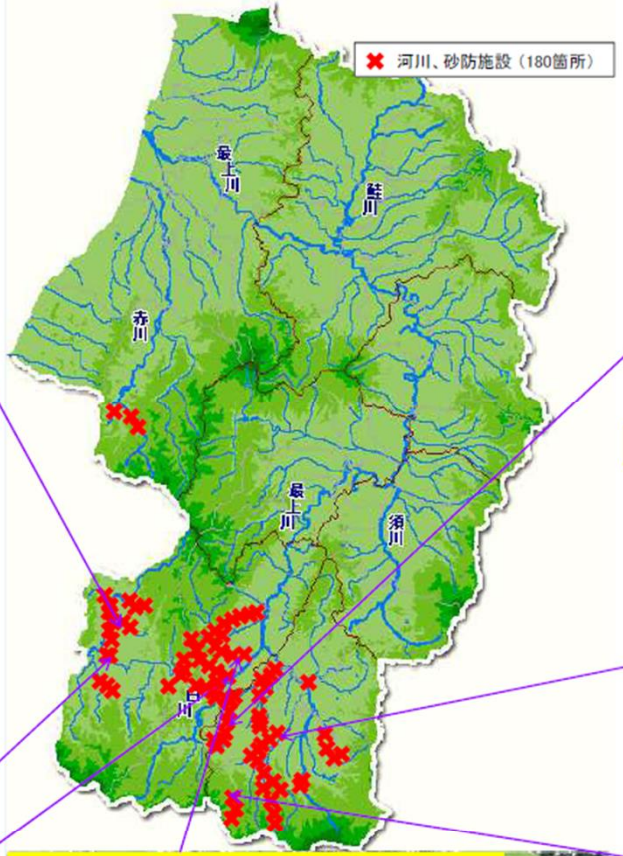




2．山形県内の近年における浸水被害

(3) 令和４年８月３日からの前線に伴う大雨

















2．山形県内の近年における浸水被害

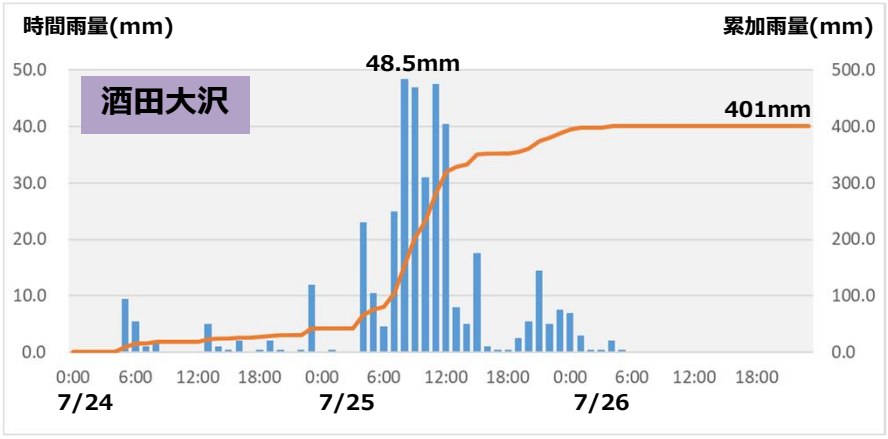
(4) 令和６年７月25日からの前線に伴う大雨

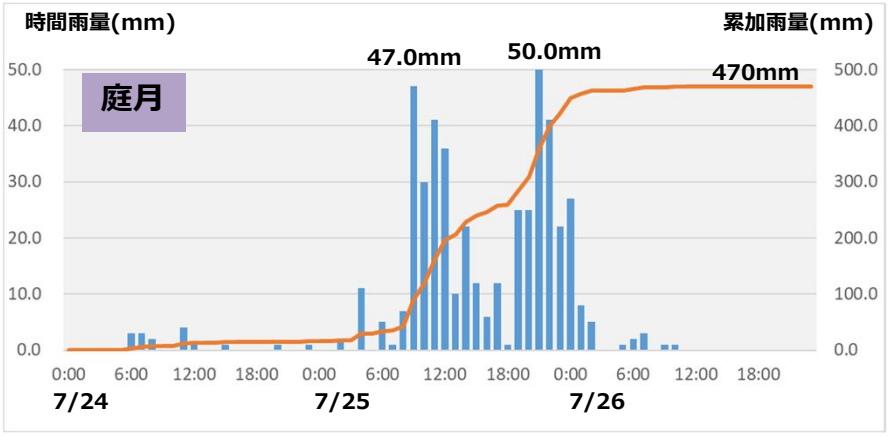
- **降雨量**

  降り始めからの降雨量は、酒田市酒田大沢で401mm、鮭川村庭月で470mmを観測するなど、県内北部を中心に記録的な大雨となった。（記録的短時間大雨情報２回発表）

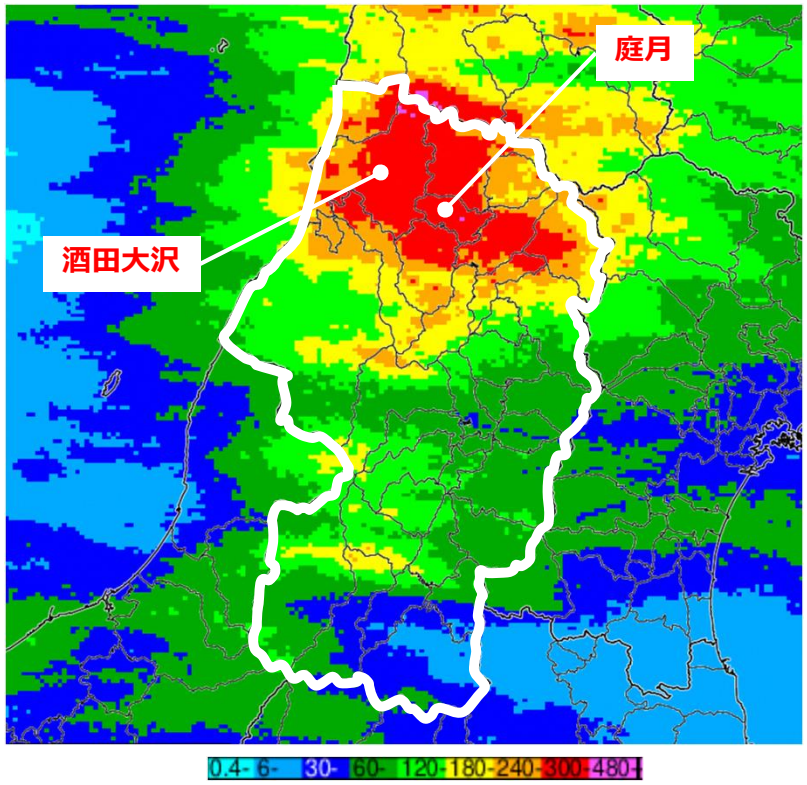
- **極地更新状況（気象庁観測所）**

  24時間降水量６地点、48時間降水量６地点、72時間降水量５地点、日降水量８地点で過去最高値を記録





<解析雨量分布図 48時間積算 24日12:00～26日12:00>



※気象庁報道発表資料より

2．山形県内の近年における浸水被害

(4) 令和６年７月25日からの前線に伴う大雨

■ **施設被害（県管理河川）**

県管理河川で堤防決壊、護岸損壊、河岸侵食など202河川、1,053箇所で施設被害が発生



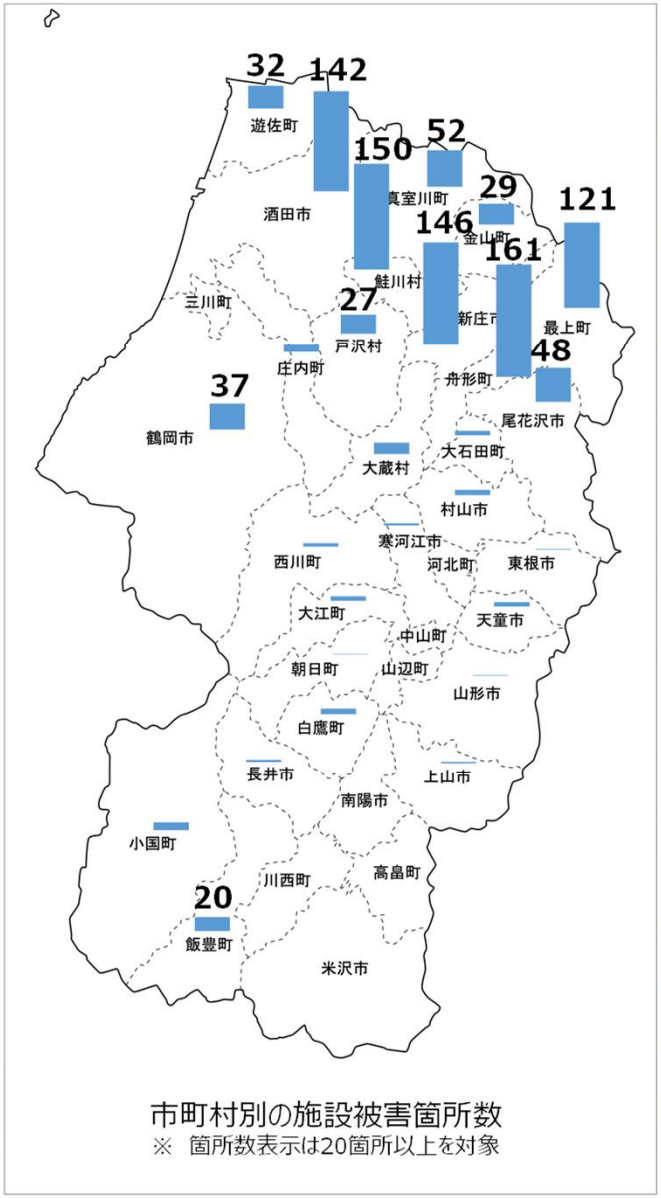
河岸侵食　－　荒瀬川（酒田市大蕨）



土砂堆積　－　小屋渕川（酒田市北青沢）



護岸裏抜け　－　岩谷沢川（尾花沢市市野々）



市町村別の施設被害箇所数

※　箇所数表示は20箇所以上を対象



護岸損壊　－　金堀沢川（新庄市升形）



堤防決壊　－　新田川（新庄市本合海）



堤防決壊　－　野尻川（尾花沢市寺内）

2．山形県内の近年における浸水被害

(5) 河川整備効果事例①

赤川水系湯尻川　河川整備の効果　（令和6年7月25日　大雨）　山形県　速報

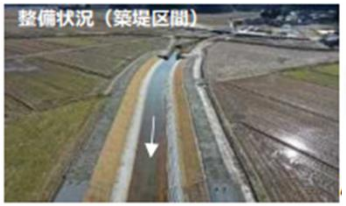
- 湯尻川（山形県管理）では**平成19年6月の梅雨前線豪雨**により**床下浸水22戸、浸水面積81haの浸水被害が発生**
- 過去の出水を踏まえ、**「5カ年加速化対策」**等を活用し、**緊急的かつ集中的に河道掘削等の治水対策を推進中**
- **今回出水（令和6年7月25日）**ではH19出水を上回る規模の雨量を記録したが、治水対策により、**家屋浸水被害を解消**

※現時点の情報につき今後の調査等により変更となることがあります

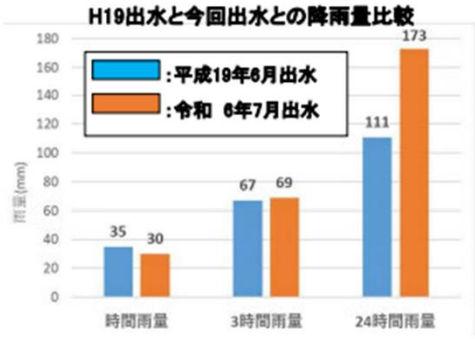








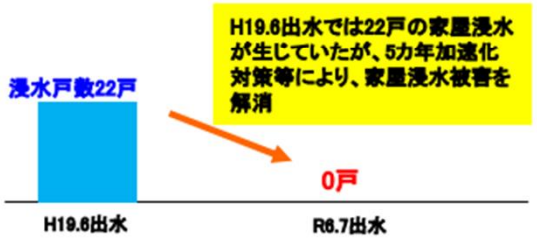
過去の降雨量との比較



H19年6月出水規模を超える降雨を観測

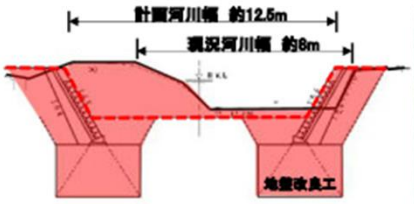
※湯尻川近傍の高坂雨量観測所における観測値

事業による効果



H19.6出水では22戸の家屋浸水が生じていたが、5カ年加速化対策等により、家屋浸水被害を解消

治水対策の実施



河道掘削・護岸

2．山形県内の近年における浸水被害

(5) 河川整備効果事例②

最上川水系升形川　河川整備の効果　(令和6年7月25日　大雨)　山形県　速報

- 升形川(山形県管理)では令和6年7月の前線による大雨により、24時間降雨量389.0mm(観測史上第１位)を記録。
- 緊急浚渫事業債を活用し、河道内の堆積土砂を除去し、浸水被害防止に効果を発揮。
- ピーク時の水位に対し約50cmの水位低減効果があったものと推定され、未実施だった場合は水位が河岸高を越えていたと推定され、溢水や決壊による外水被害の危険性があった。

※現時点の情報につき今後の調査等により変更となることがあります

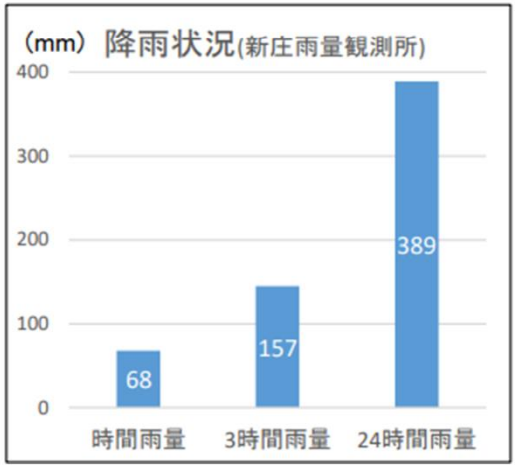








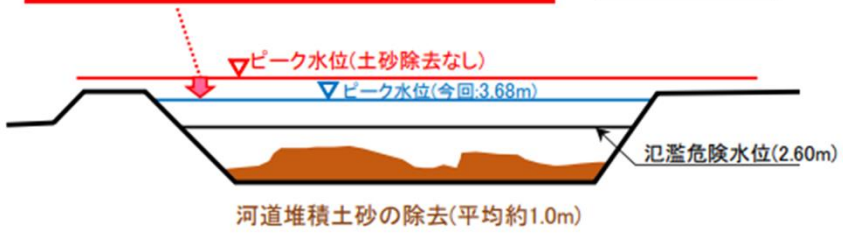




治水対策の実施と効果

河道堆積土砂の除去により
ピーク水位を約50cm低下させた(推定)

標準横断図



2．山形県内の近年における浸水被害

(6) ダム洪水調節効果事例①

最上川水系田沢川　田沢川ダムの効果(令和6年7月25日　前線の影響)　山形県

- 最上川水系田沢川の田沢川ダム地点において、7月25日8時頃から降り続いた雨は、7月26日2時までに累計雨量が359mmに達し、田沢川ダムでは最大毎秒230.47㎥(7月25日23:33)の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、田沢川ダムでは**約273.2万㎥(※25mプールで約7,589杯分)の水を貯め込み**、下流河川の水位の軽減を図りました。※25mプール:長さ25m×幅12m×深さ1.2m=360㎥で換算した場合
- 田沢川ダムの洪水調節によって、ダム下流の酒田市山元地点で**約39cmの水位を低減**させる効果があったものと推定されます。

位置図



相沢橋水位観測所付近状況
(下流を望む)

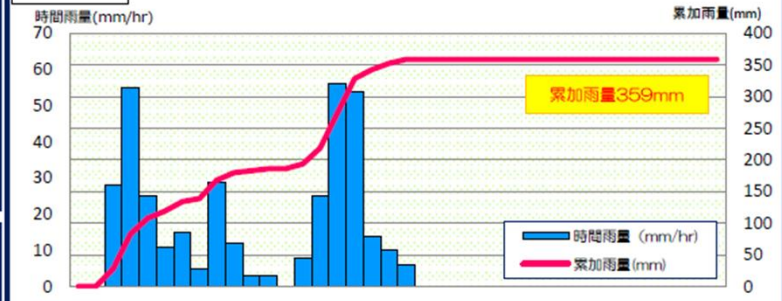


ダム下流約1km　築場橋付近
(下流を望む)

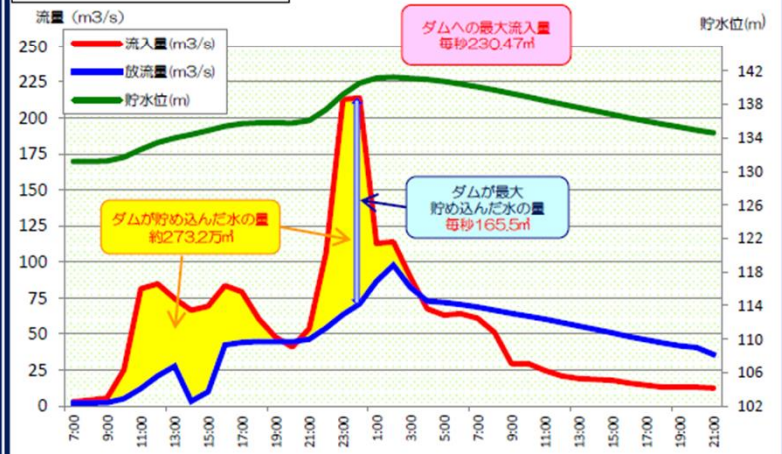


田沢川ダムの洪水貯留状況

降雨状況

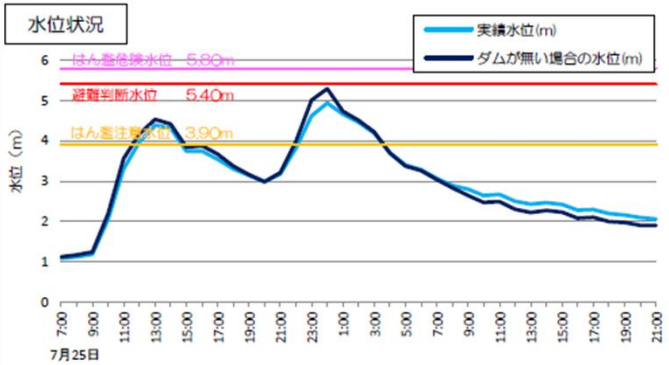


ダム流入量/放流量/貯水位

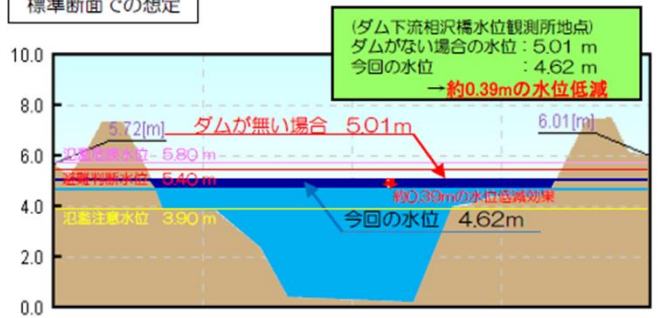


田沢川における水位低減効果

水位状況



標準断面での想定



問い合わせ先
県土整備部河川課ダム担当　TEL　023-630-2618
庄内総合支庁河川砂防課　TEL　0235-66-5634

2．山形県内の近年における浸水被害

(6) ダム洪水調節効果事例②

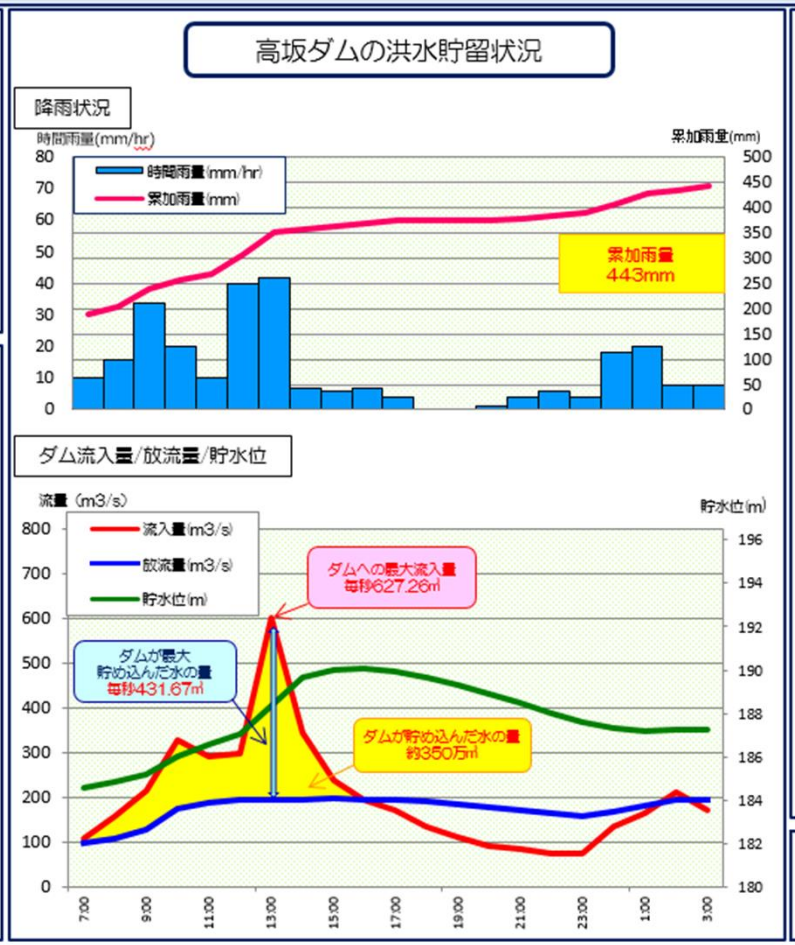
最上川水系鮭川　高坂ダムの効果（令和6年7月25日　前線）　山形県

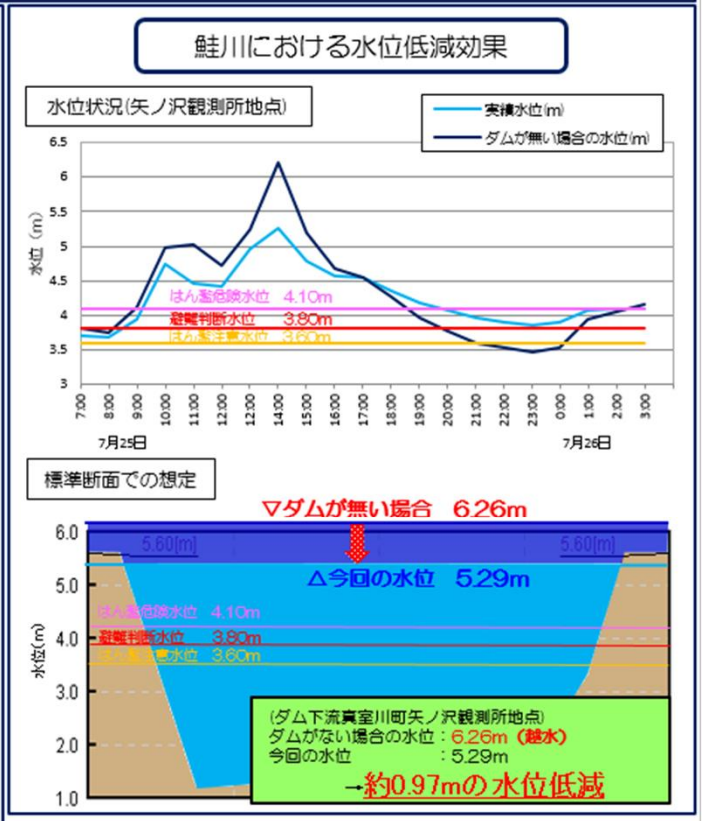
- 最上川水系鮭川の高坂ダム地点において、7月24日5時頃から降り続いた雨は、26日3時までに累加雨量が443mmに達し、高坂ダムでは最大毎秒627.26㎥（7月25日12:53）の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、高坂ダムでは**約350万㎥（※25mプール約9,722杯分）の水を貯め込み**、下流河川の水位の低減を図りました。
  ※25mプール：長さ25m×幅12m×深さ1.2m=360㎥で換算した場合
- 高坂ダムによって、ダム下流の真室川町矢ノ沢地点で**約97cmの水位を低減**させる効果があったものと推測されます。
- ダムが無ければ、さらに**堤防高 5.60mを超えていた**と推測されます。











問い合わせ先
山形県県土整備部河川課ダム担当　TEL　023-630-2618
最上総合支庁建設部高坂ダム管理課　TEL　0233-63-2613

2．山形県内の近年における浸水被害

(6) ダム洪水調節効果事例③

最上川水系金山川　神室ダムの効果（令和6年7月25日　前線による大雨）　山形県

- 最上川水系金山川の神室ダム地点において、7月24日6時頃から降り続いた雨は、26日13時までに累加雨量が297mmに達し、神室ダムでは最大毎秒97.06㎥（7月25日8:41）の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、神室ダムでは**約61万㎥（※25mプール約1700杯分）の水を貯め込み**、下流河川の水位の低減を図りました。　※25mプール：長さ25m×幅12m×深さ1.2m=360㎥で換算した場合
- 神室ダムの洪水調節によって、ダム下流の金山町金山地点で**約14cmの水位を低減**させる効果があったものと推測されます。



神室ダム放流状況

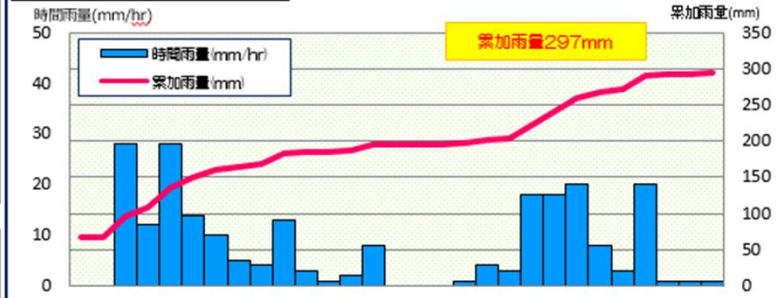


金山川　金山水位観測所付近の状況

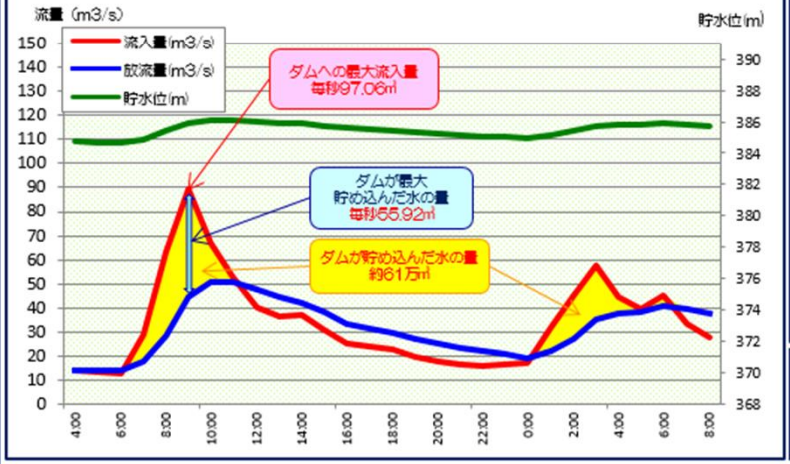


神室ダムの洪水貯留状況

降雨状況（神室ダム地点）

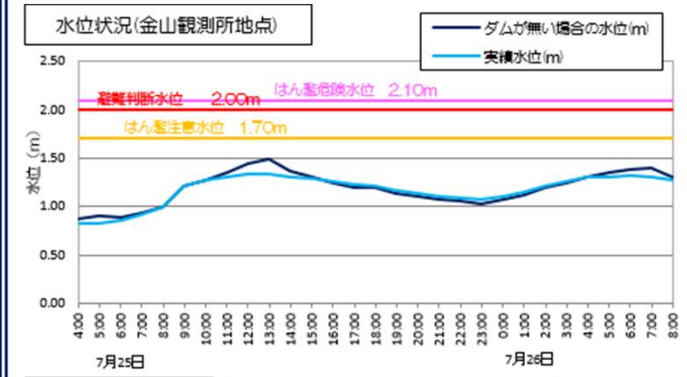


ダム流入量/放流量/貯水位

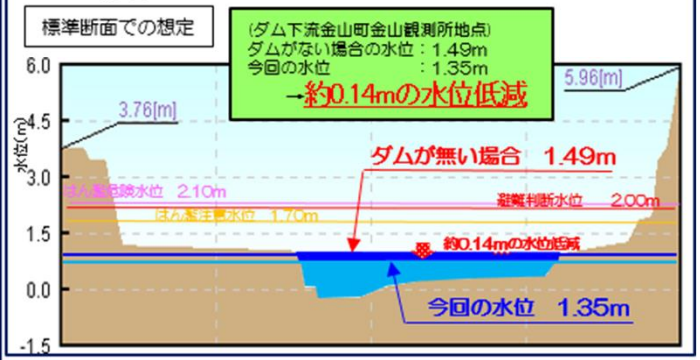


金山川における水位低減効果

水位状況(金山観測所地点)



標準断面での想定



問い合わせ先
山形県県土整備部河川課ダム担当　TEL　023-630-2618
最上総合支庁建設部河川砂防課　TEL　0233-29-1413

2．山形県内の近年における浸水被害

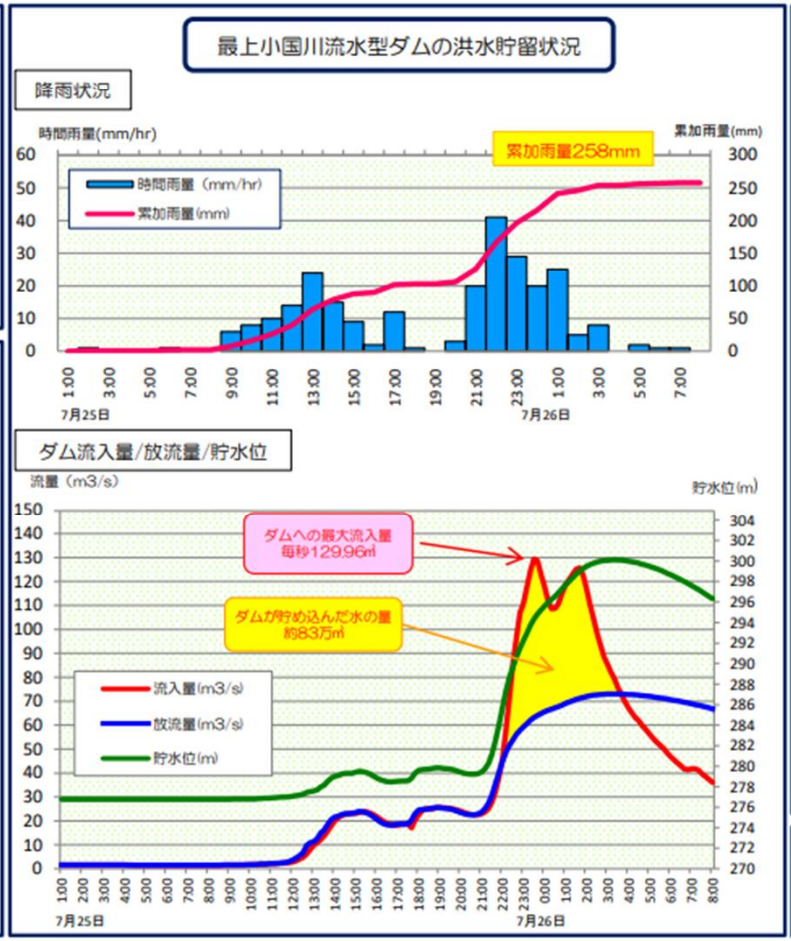
(6) ダム洪水調節効果事例④

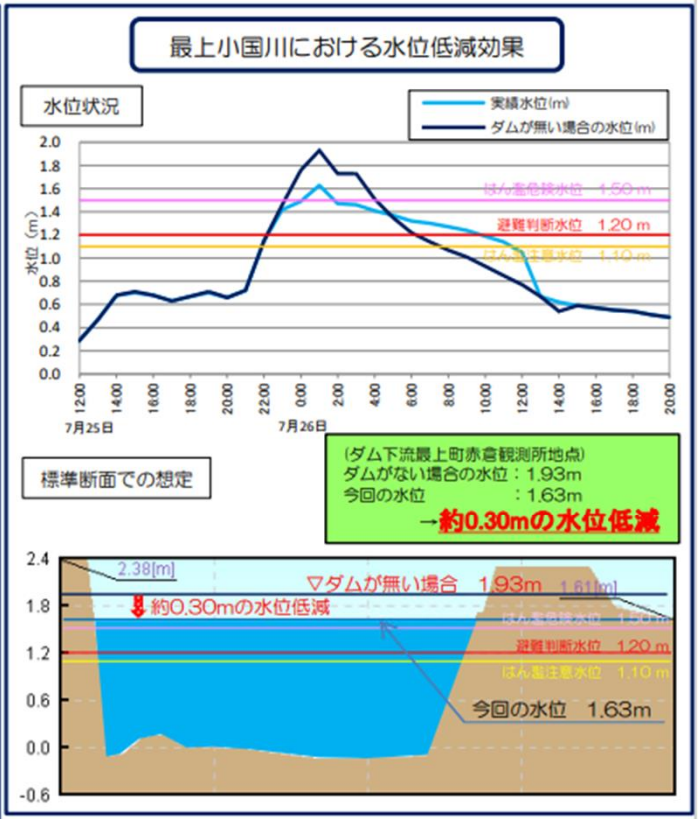
最上小国川流水型ダムの効果（令和6年7月25日　梅雨前線による大雨）　山形県

- 最上川水系最上小国川の最上小国川流水型ダム地点において、7月25日1時頃から降り続いた雨は、26日7時までに累加雨量が258mmに達し、最上小国川流水型ダムでは最大毎秒129.96m³（7月25日23:34）の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、最上小国川流水型ダムでは約83万m³（※25mプール約2,300杯分）の水を貯め込み、下流河川の水位の低減を図りました。　※25mプール：長さ25m×幅12m×深さ1.2m=360m³で換算した場合
- 最上小国川流水型ダムによって、ダム下流の最上町赤倉地点で約30cmの水位を低減させる効果があったものと推測されます。









問い合わせ先

山形県県土整備部河川課ダム担当　TEL　023-630-2618

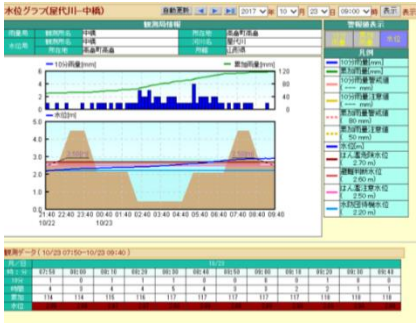
最上総合支庁建設部河川砂防課　TEL　0233-29-1413

3．ソフト対策

(1) 人命保護を最優先にした緊急避難行動に資する施策の推進

災害時の人命保護を最優先とした警戒避難体制の確立のため、必要な基礎資料やより使いやすい避難の目安となる情報を市町村や県民に提供します。

河川砂防情報システムによる情報提供の充実
【交付金　情報基盤】



雨量計、水位計の最短配信間隔を10分から5分へ短縮することで、より迅速に防災情報を提供できるようシステムを改良(H30)しました。

危機管理型水位計による情報提供
【交付金　情報基盤】



機器費・維持管理費が既存水位計の1/10程度（洪水時のみ水位データの提供）。河川管理上重要な箇所、大雨被害を踏まえた対応として99箇所（R7.10現在）に設置し、危険箇所の洪水時の危険性をダイレクトに把握することができます。

簡易型河川監視カメラによる情報提供の充実
【交付金　情報基盤】

出水時にリアリティーのある洪水状況を画像として住民と共有し、適切な避難判断を促すため、新たに簡易型河川監視カメラ96基(R7.10現在)を設置しました。

最新の画像を河川情報センターが運営する「川の防災情報」のホームページで公開開始（令和2年4月1日運用開始）しています。





3．ソフト対策

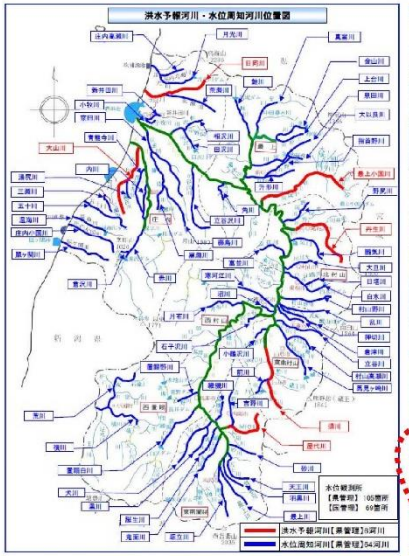
(1) 人命保護を最優先にした緊急避難行動に資する施策の推進

洪水浸水想定区域の追加指定

1　水防法改正による指定対象の拡大

政府は令和３年に水防法を改正し、**洪水浸水想定区域の指定対象をすべての１級・２級河川に拡大**　（ 政府の目標：令和７年度指定完了　（社会資本整備重点計画KPI））

改正前





70河川を指定済み・中小河川484河川は対象外

令和４年8月大雨　浸水想定区域未指定の小白川・萩生川で浸水被害が発生

→「水害リスク情報空白域」 解消が課題

改正後

県

洪水浸水想定区域の指定

・令和6年6月：127河川 追加指定

・**令和7年5月：357河川** 追加指定

→ 県管理全554河川で指定完了



指定対象河川の拡大イメージ

市町村

洪水ハザードマップへの反映

洪水浸水想定区域　避難所・避難経路

要配慮者支援施設　アンダーパス　過去の浸水箇所

迅速・的確な避難　　安全・安心なまちづくり

2　指定のスケジュール

		R５年度		R６年度						R７	R８
		～２月	３月	４月	５月	６月～11月	12月	１月	２月	３月	
県	洪水浸水想定区域図作成	村山管内		最上・置賜・庄内管内							
	市町村との調整										
	指定・告示（県公報）					127河川				357河川	
市町村	洪水ハザードマップへ反映			国交省はR8までを目標として周知							

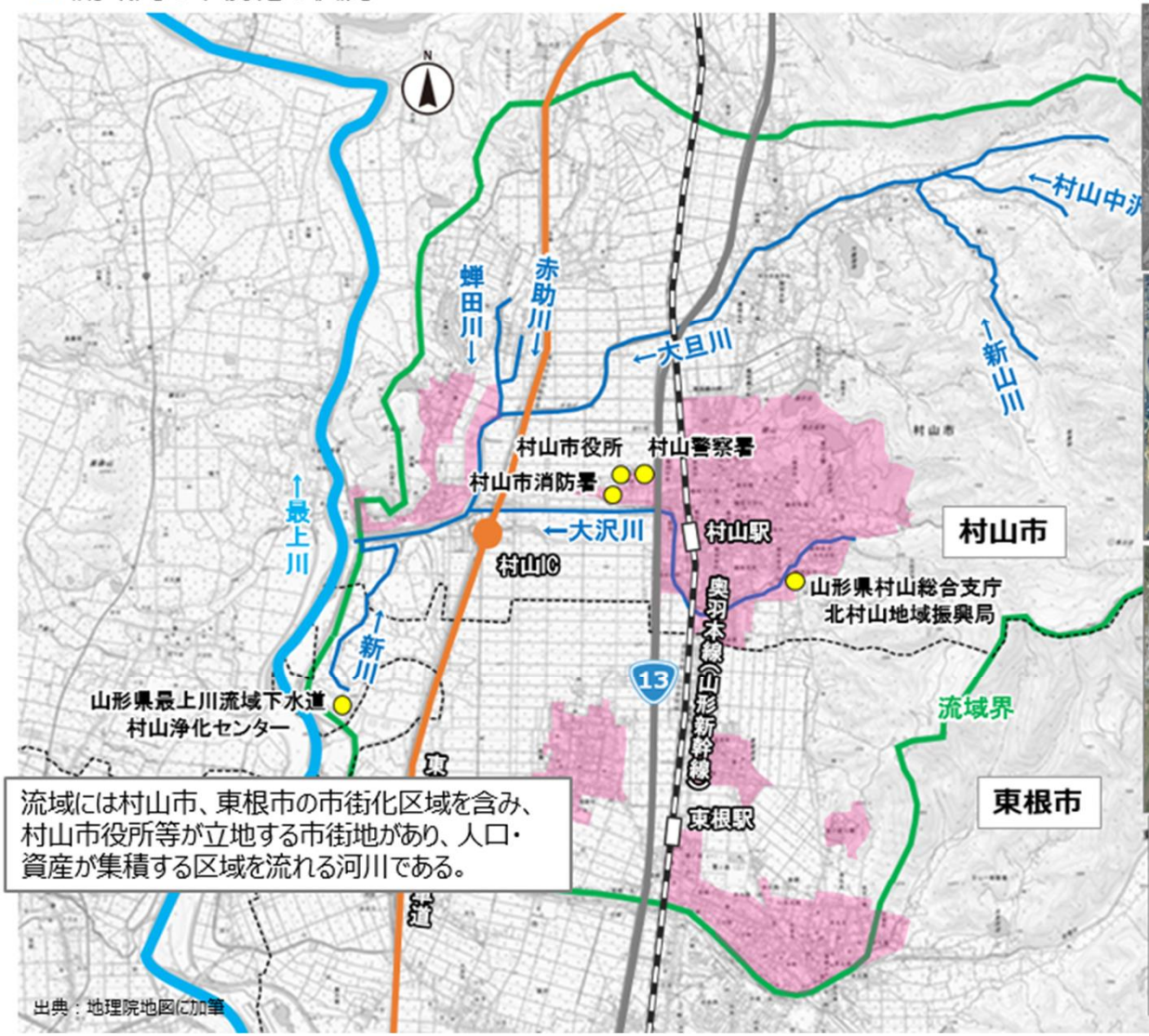
3．ソフト対策

(2) 大旦川（村山市・東根市）特定都市河川の指定

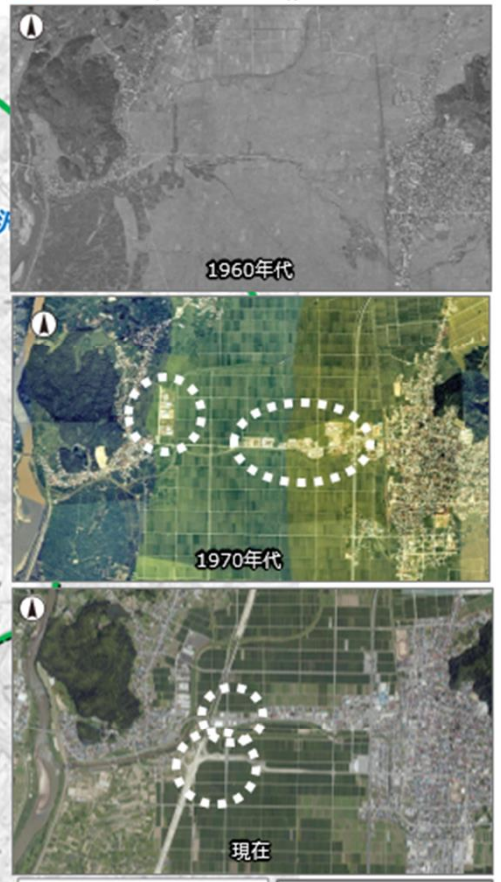
➢ **大旦川（令和７年度指定予定：県指定）**

○指定要件１（都市部を流れる河川）

■ 流域内の市街化の状況



■ 流域内開発の遷移



3．ソフト対策

(2) 大旦川（村山市・東根市）特定都市河川の指定

○指定要件２（著しい浸水被害が発生し、又はそのおそれ）



■ 洪水浸水想定区域の指定状況

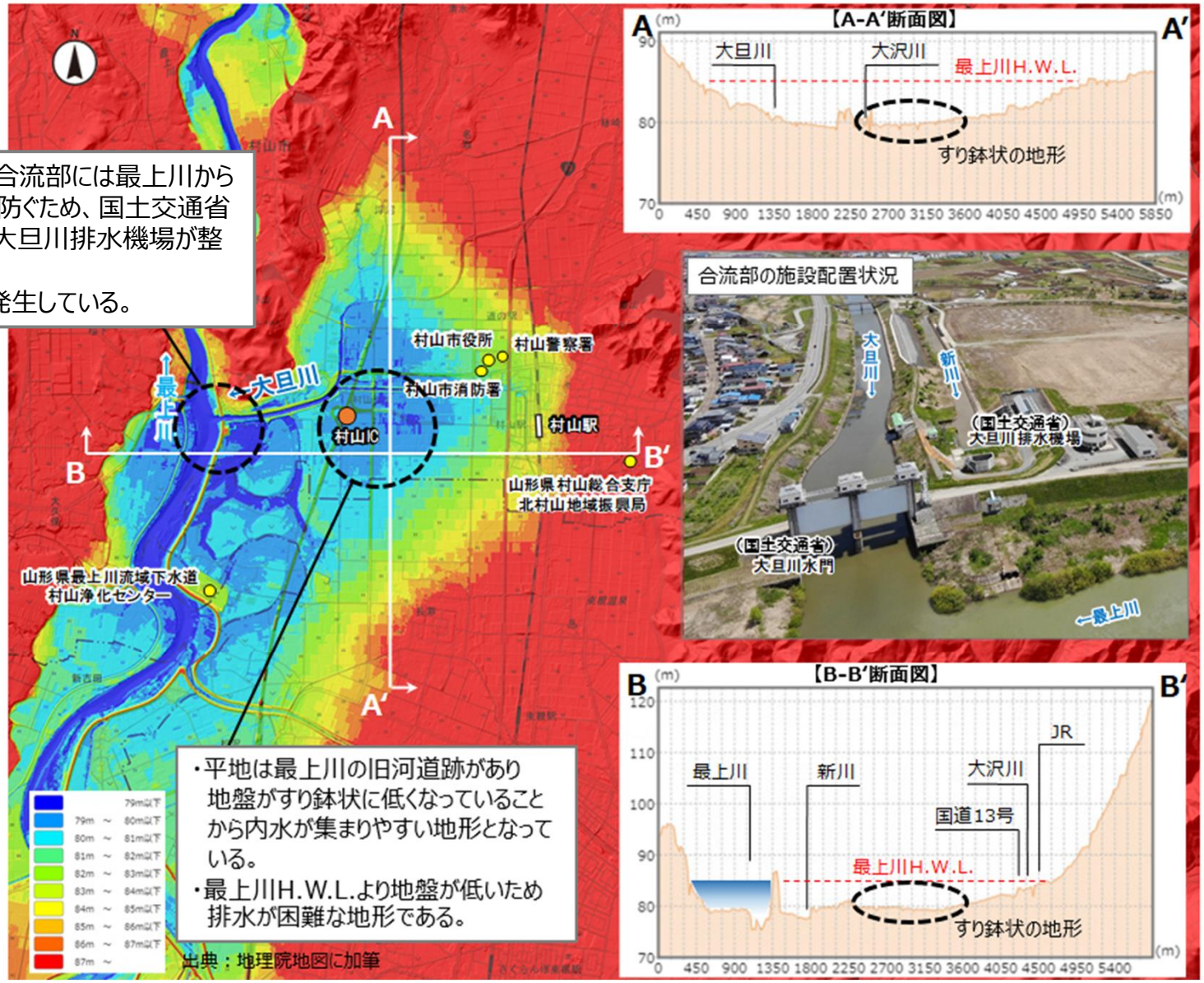
河川名	指定年月日	備考
大旦川	平成31年４月27日 令和６年６月14日	水位周知河川
新川	令和６年６月14日	
大沢川	令和６年６月14日	
蝉田川	令和６年６月14日	
赤助川	令和６年６月14日	
新山川	令和６年６月14日	
村山中沢川	令和６年６月14日	

3．ソフト対策

(2) 大旦川（村山市・東根市）特定都市河川の指定

○指定要件３（接続する河川の状況）

・最上川と大旦川の合流部には最上川からのバックウォーターを防ぐため、国土交通省にて大旦川水門と大旦川排水機場が整備されている。
・度々内水氾濫が発生している。



4．ハード対策

(1) 災害に対する安全性を高める施設の効果的な整備

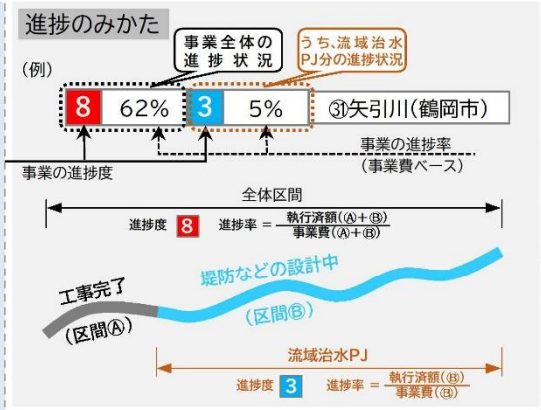
【令和７年３月時点】

流域治水

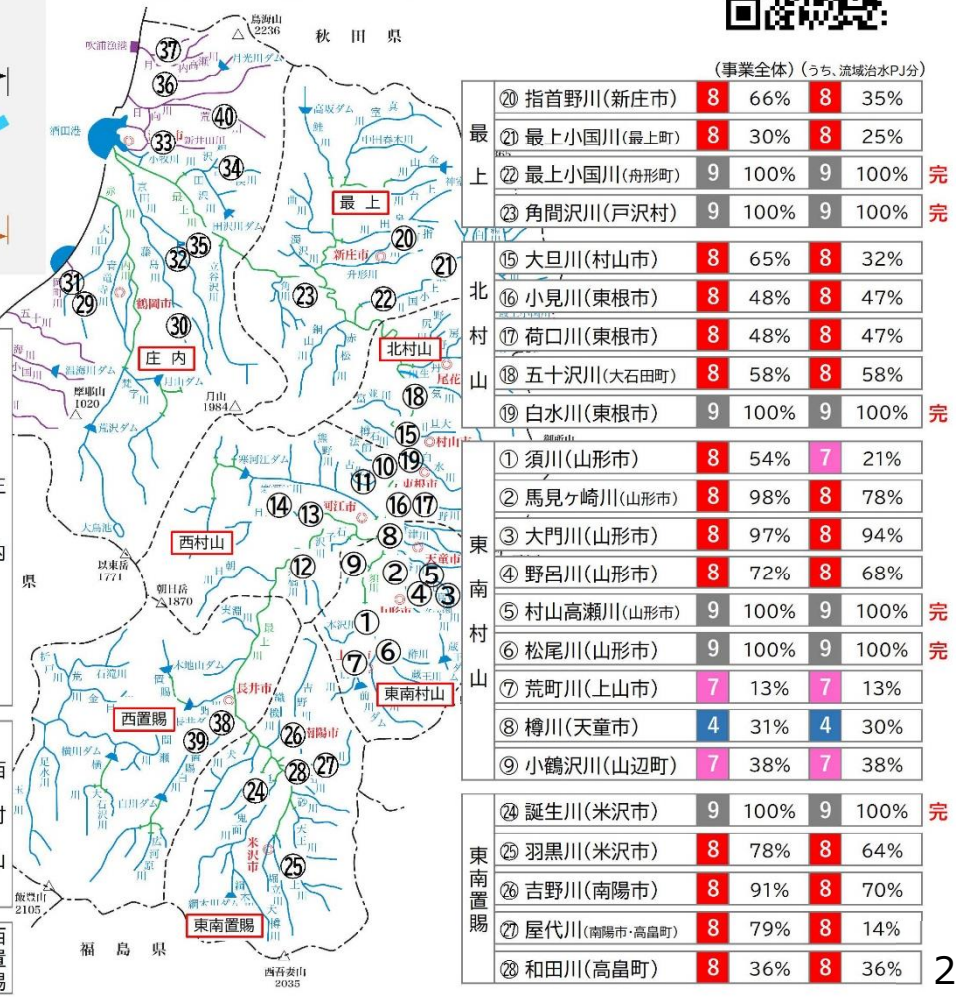
本県では、「最上川水系流域治水プロジェクト」等に基づき、令和2年7月と同規模の洪水等に対し、浸水被害の軽減を図るため、概ね10年間（令和2～11年度）、35河川37か所で河川整備を集中的に実施しています。 また、令和4年8月や令和6年7月大雨で被災した3河川3か所については、災害復旧とともに河川の改良を行う「改良復旧」を実施しています。

事業の進捗度

1. プロジェクトの説明
   現場調査のために地域の皆様へプロジェクトの説明を行います。現地調査の協力をお願いします。
2. 測量・地質調査
   堤防などの設計に必要な資料の収集・測量・調査を行います。
3. 堤防などの設計
   収集した資料や測量図面を基に堤防などの設計を行います。
4. 設計内容の説明
   地域の皆様へ堤防等の設計内容や用地取得に関する説明を行います。
5. 用地幅杭設置
   設計に基づき堤防等の工事に必要な用地範囲を示す杭を打設します。
6. 用地・物件の調査
   堤防等に必要な用地、建物等の調査を行い、所有者立会いのもと、用地境界等の確認を行います。
7. 補償の説明・契約
   用地・物件調査の結果を基に所有者の皆様に補償内容の説明を行い、契約締結後、補償金の支払いを行います。
8. 工事
   設計に基づき工事を行います。
9. 完成



『流域治水プロジェクト（流域治水PJ）とは』
気候変動による水害の激甚化、頻発化に備えるため、流域のあらゆる関係者が協働し「流域治水」を推進することが重要です。
「流域治水プロジェクト」は、「流域治水」において重点的に取組む対策を水系ごとに取りまとめたもので、県内では、最上川、赤川、荒川の各一級水系及び、8つの二級水系において策定されています。



		（事業全体）		（うち、流域治水PJ分）	
庄内		8	95%	8	86%	㉙ 湯尻川（鶴岡市）	
庄内	完	9	100%	9	100%	㉚ 黒瀬川（鶴岡市）	
庄内		8	62%	3	5%	㉛ 矢引川（鶴岡市）	
庄内	完	9	100%	9	100%	㉜ 京田川（鶴岡市・庄内町）	
庄内		8	92%	8	16%	㉝ 新井田川（酒田市）	
庄内		8	87%	8	53%	㉞ 中野俣川（酒田市）	
庄内		8	75%	8	48%	㉟ 宇津野沢川（庄内町）	
庄内		8	96%	8	60%	㊱ 月光川（遊佐町）	
庄内		8	39%	8	34%	㊲ 滝渕川（遊佐町）	
庄内		3	着手率 1%			㊵ 荒瀬川（酒田市）	
西村山		8	19%	8	19%	⑩ 古佐川（河北町）	
西村山	完	9	100%	9	100%	⑪ 古佐川（上流）（河北町）	
西村山	完	9	100%	9	100%	⑫ 送橋川（朝日町）	
西村山		6	20%	6	20%	⑬ 月布川・市の沢川（大江町）	
西村山	完	9	100%	9	100%	⑭ 月布川（上流）（大江町）	
西置賜		8	78%	8	78%	㊳ 萩生川（飯豊町）	
西置賜		8	81%	8	81%	㊴ 小白川（飯豊町）	

		（事業全体）		（うち、流域治水PJ分）	
最上		8	66%	8	35%	⑳ 指首野川（新庄市）	
最上		8	30%	8	25%	㉑ 最上小国川（最上町）	
最上	完	9	100%	9	100%	㉒ 最上小国川（舟形町）	
最上	完	9	100%	9	100%	㉓ 角間沢川（戸沢村）	
北村山		8	65%	8	32%	⑮ 大旦川（村山市）	
北村山		8	48%	8	47%	⑯ 小見川（東根市）	
北村山		8	48%	8	47%	⑰ 荷口川（東根市）	
北村山		8	58%	8	58%	⑱ 五十沢川（大石田町）	
北村山	完	9	100%	9	100%	⑲ 白水川（東根市）	
東南村山		8	54%	7	21%	① 須川（山形市）	
東南村山		8	98%	8	78%	② 馬見ヶ崎川（山形市）	
東南村山		8	97%	8	94%	③ 大門川（山形市）	
東南村山		8	72%	8	68%	④ 野呂川（山形市）	
東南村山	完	9	100%	9	100%	⑤ 村山高瀬川（山形市）	
東南村山	完	9	100%	9	100%	⑥ 松尾川（山形市）	
東南村山		7	13%	7	13%	⑦ 荒町川（上山市）	
東南村山		4	31%	4	30%	⑧ 樽川（天童市）	
東南村山		7	38%	7	38%	⑨ 小鶴沢川（山辺町）	
東南置賜	完	9	100%	9	100%	㉔ 誕生川（米沢市）	
東南置賜		8	78%	8	64%	㉕ 羽黒川（米沢市）	
東南置賜		8	91%	8	70%	㉖ 吉野川（南陽市）	
東南置賜		8	79%	8	14%	㉗ 屋代川（南陽市・高畠町）	
東南置賜		8	36%	8	36%	㉘ 和田川（高畠町）	

4．ハード対策

(2) 主な河川整備①（須川）

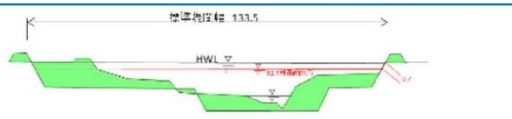
① 須川（すかわ）／山形市

進捗状況 【令和7年3月】

事業全体		うち、流域治水プロジェクト(PJ)整備	
8【工事】	進捗率 54%	7【補償】	進捗率 21%

位置図





計画断面図

状況



整備中区間【蔵王成沢工区（常盤橋下流～睦合橋）】



事業着手前の状況（常盤橋上流付近）



令和２年７月豪雨時の状況（常盤橋付近）



片谷地地区（常盤橋左岸上流）進捗状況（令和７年２月撮影）

進捗度とその内容

1. プロジェクトの説明
   現場調査のために地域の皆様へプロジェクトの説明を行います。現地調査の協力をお願いします。
2. 測量・地質調査
   堤防などの設計に必要な資料の収集・測量・調査を行います。
3. 堤防などの設計
   収集した資料や測量図面を基に堤防などの設計を行います。
4. 設計内容の説明
   地域の皆様へ堤防等の設計内容や用地取得に関する説明を行います。
5. 用地幅杭設置
   設計に基づき堤防等の工事に必要な用地範囲を示す杭を打設します。
6. 用地・物件の調査
   堤防等に必要な用地、建物等の調査を行い、所有者立会いのもと、用地境界等の確認を行います。

今はココ(PJ)

7. 補償の説明・契約
   用地・物件調査の結果を基に所有者の皆様に補償内容の説明を行い、契約締結後、補償金の支払いを行います。

今はココ(全体)

8. 工事
   設計に基づき工事を行います。
9. 完成

概要

- ○ 事業着手：昭和50年度
- ○ 延　　長：10.5km（蔵王成沢工区1.5km、前明石・吉原工区3.5km）
- ○ 整備内容：流下能力を向上させるため、築堤、河道掘削、等を実施
- ○ 沿川には住宅地や工場などが集積
  昭和42年の羽越水害では950戸が家屋浸水、180ha浸水

進捗状況

- ○ 飯塚橋～門伝橋区間は、R3までに暫定整備済
- ○ 門伝橋～常盤橋下流区間（前明石・吉原工区）は、交付金事業にて実施中
- ○ 常盤橋下流～睦合橋区間（蔵王成沢工区）は、令和４年度に個別補助事業（大規模特定河川事業）として事業着手

令和７年度実施内容

- ○ 築堤工、調査設計、用地補償 等

流域治水

4．ハード対策

(2) 主な河川整備②（古佐川）

⑩ 古佐川（ふるさがわ）／河北町

進捗状況【令和7年3月】
事業全体 8【工事】 進捗率 19%
うち、流域治水プロジェクト整備 8【工事】 進捗率 19%

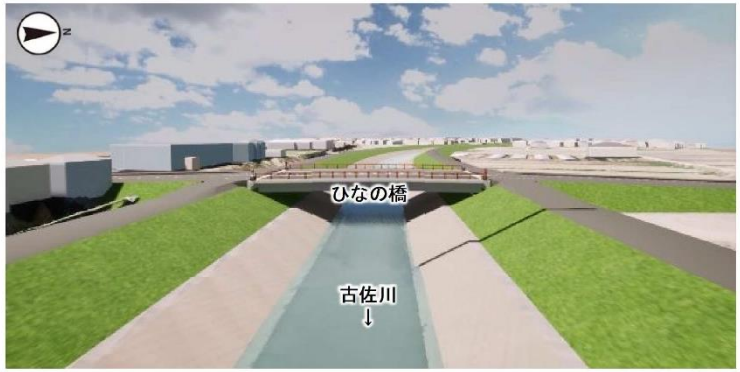
位置図



浸水状況（令和２年７月豪雨）



整備イメージ





進捗度とその内容

1. プロジェクトの説明
   現場調査のために地域の皆様へプロジェクトの説明を行います。現地調査の協力をお願いします。
2. 測量・地質調査
   堤防などの設計に必要な資料の収集・測量・調査を行います。
3. 堤防などの設計
   収集した資料や測量図面を基に堤防などの設計を行います。
4. 設計内容の説明
   地域の皆様へ堤防等の設計内容や用地取得に関する説明を行います。
5. 用地幅杭設置
   設計に基づき堤防等の工事に必要な用地範囲を示す杭を打設します。
6. 用地・物件の調査
   堤防等に必要な用地、建物等の調査を行い、所有者立会いのもと、用地境界等の確認を行います。
7. 補償の説明・契約
   用地・物件調査の結果を基に所有者の皆様に補償内容の説明を行い、契約締結後、補償金の支払いを行います。
8. 工事 ← 今はココ!!
   設計に基づき工事を行います。
9. 完成

概要

- ○ 事業着手：令和４年度
- ○ 整備延長：1.9km
- ○ 整備内容：最上川背水区間における堤防整備
- ○ 令和２年７月豪雨では、最上川のバックウォーターの影響で溢水による浸水被害が発生
  （浸水面積50ha、床上浸水27戸、床下浸水25戸）

進捗状況

- ○ 令和４年度　調査設計、事業説明会
- ○ 令和５年度　用地補償に着手
- ○ 令和６年度　旧橋撤去工事、用地補償

令和７年度実施内容

- ○ 橋梁架設工事(ひなの橋)、用地補償

流域治水

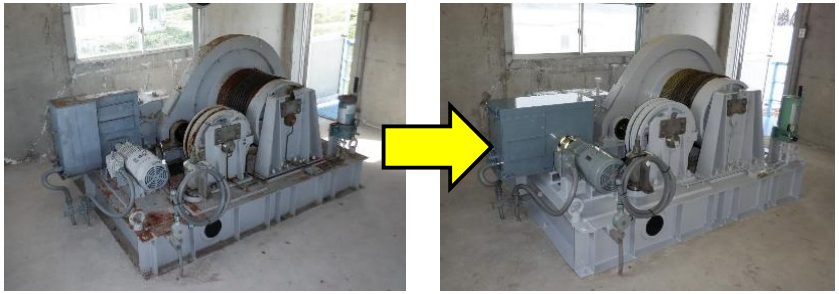
5．維持管理

(1) 長寿命化対策の推進

河川管理施設の整備に伴い維持管理費が増大する中、長寿命化計画に基づいた施設の改築等により、効率的・効果的な施設機能の確保にかかるコスト縮減を図ります。

青竜寺川水門・丸岡分水堰（鶴岡市）





機械設備の更新

樋門・樋管（全県）



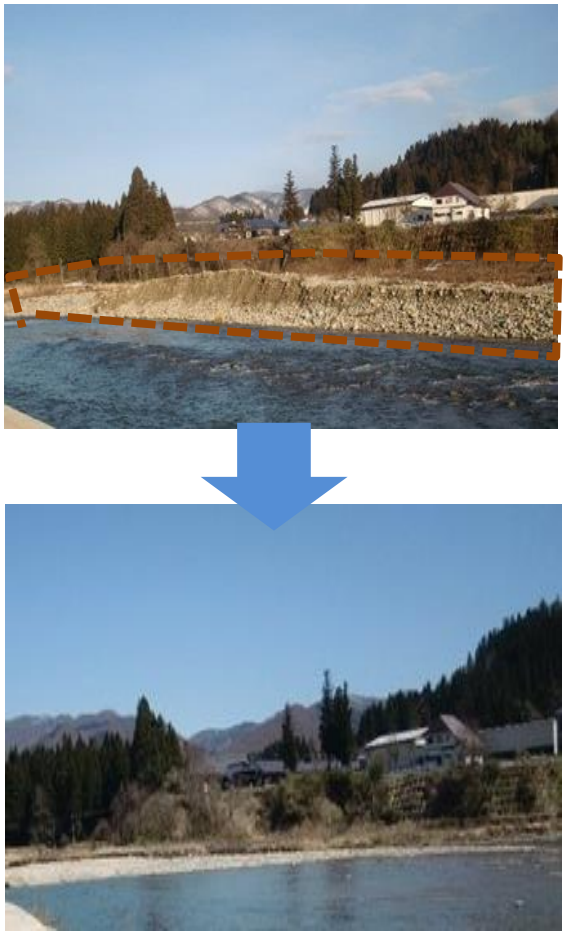


5．維持管理

(2) 県民協働による維持管理・地域づくりの推進

社会基盤の整備から維持管理に至るまで、県民参加・協働を推進し、活力のある地域づくりを推進します。

河川流下能力向上対策
（公募型掘削）



河川流下能力向上対策
（公募型伐採）



ふるさとの川愛護活動支援
（アダプト）





5．維持管理

(3) 河川流下能力向上・持続化対策計画

計画の概要

これまでの流下能力向上対策による効果は見られるものの、近年の豪雨などにより土砂堆積等が進行し、要対策延長が減少していない。本計画では、緊急浚渫推進事業債・緊急自然災害防止対策事業債を活用し、令和４年度から令和７年度の４か年で集中的な対策を行うとともに、堆積土砂の発生源対策、モニタリングによる河道管理の最適化等の取組を行うことで、持続可能な河川管理を目指す。

これまでの取り組み

計画名称	計画期間	計画延長 / 要対策延長
河川流下能力向上対策計画（H29.3）	H29～R3（5年）	160km / 518km
河川流下能力向上緊急対策計画（H31.3）	R1～3（3年）	220km / 381km

H30.8月豪雨 → 要対策区間を再整理



▲ これまでの取り組みの効果事例

新たな課題

○近年の豪雨の頻発などによる土砂堆積の進行（約187km）
➡ これまで以上の**浚渫・伐採による流下能力対策**が必要
○浚渫・伐採箇所の再堆積（約40km）
➡ **再堆積を抑制するための対策**が必要



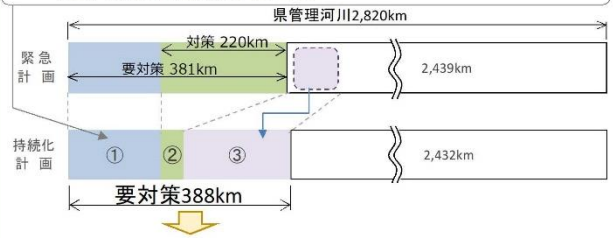
▲ 短期間で急速に再堆積した事例



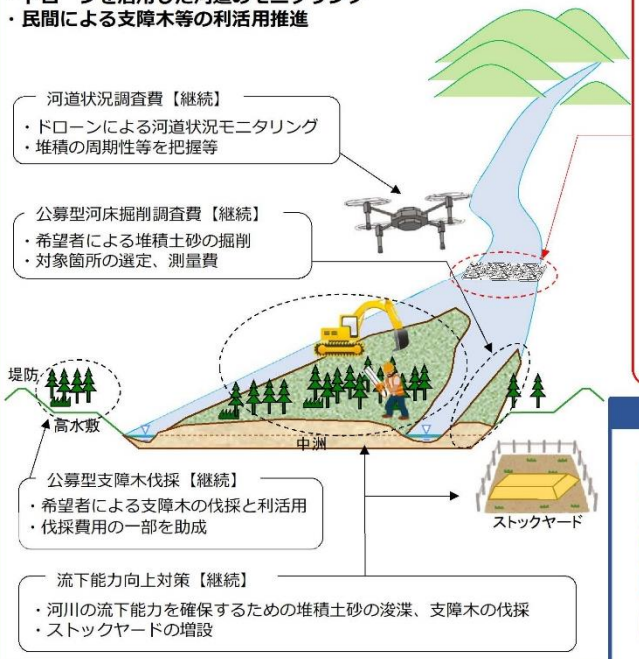
▲上流の流出土砂が下流に堆積した事例

流下能力の向上・持続化対策計画の概要

要対策区間延長３８８km ➡ H31計画策定時（３８１km）から減少せず
内訳：①緊急計画で先送りした区間（161km） ②緊急計画で実施区間の再堆積（40km）
③近年の豪雨による堆積進行（187km）

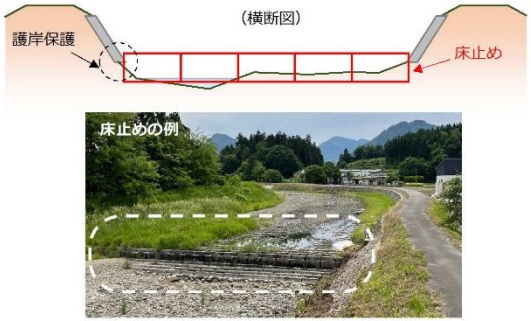


- **氾濫の危険性の高い２３３kmを選定し堆積土砂及び支障木を撤去**
- **対策区間上流部への床止め設置 ➡ 土砂流出抑制及び施設保全対策**
- **ドローンを活用した河道のモニタリング**
- **民間による支障木等の利活用推進**



流路保全（土砂流出抑制対策）【新規】

・床止めによる上流深掘れ区間の土砂流出抑制、護岸等の施設保護



スケジュール

